

令和 5 年度 国 語 科 シラバス

科 目	論理国語	単位数	3	履修学年・クラス（講座）	2年普通科
使用教科書	「高等学校 論理国語」（第一学習社）				
補助教材等	「常用漢字ダブルクリア四訂版」（尚文出版） 「新成現代文」（尚文出版）				

1 学習の到達目標

言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思考力・判断力・表現力】
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。【学びに向かう態度・人間性等】

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 社会生活を円滑に営む上で必要なコミュニケーション力の基となる「言葉」の力を身に付けるための大切な授業です。学習活動それぞれのねらい・目的を意識しながら、積極的に授業へ取り組んでください。
- 予習として必ず本文を通読し、意味のわからない語句は辞書等で調べておきましょう。内容的に疑問を抱いた点については授業内で解決し、授業後はふり返って内容を確認してください。
- 授業では「読む」「書く」活動だけを行います。互いに相手が理解しやすいよう工夫を凝らしつつ自分の考えや思いを伝え合うことで、思考力を鍛え、表現力を磨くことができます。
- 国語力の伸長を図ることは、短期間で効率的にできることではありません。日頃から本や新聞を読み、活字に慣れ親しむことで、語彙力を増やし、表現の幅を広げ、豊かな日本語の力を身に付けるよう心掛けましょう。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	論証したり学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語彙を豊かにし、段落の構造や文章の構造などを理解し、使用できている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしている。	言葉の価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。
主な評価方法	・ペーパーテスト(事実的な知識の習得を問う問題及び知識の概念的な理解を問う問題)の結果	・ペーパーテスト ・作成したポートフォリオの内容 ・レポート記述内容 ・グループでの話し合いや発表などの場面での観察	・授業中の発言内容 ・行動観察 ・生徒による自己評価や相互評価の様子及び記述内容

4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
4	評論	天然知能として生きる(郡司ペギオ幸夫)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が定義する「天然知能」について把握し、これからの人間の知性のあり方について考えを深める。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。(a) ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。(b) ・個別の情報をどのように一般化しているかを捉え、学習課題に沿って積極的に説明しようとしている。(c)
5	評論	日本人の「自然」(木村敏)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の述べる西洋と日本の「自然」を対比的につかみ、筆者の問題意識や執筆意図に目を向ける。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から筆者の問題意識や執筆意図を読み取り、自分の考えを論述したり発表したりする。(b) ・「自然」という言葉について、それぞれの例における意味内容の違いを粘り強く説明しようとしている。(c)
6	評論	手の変幻(清岡卓行)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。(a) ・学習課題に沿って積極的に慣用表現について調べたり、表現効果について考えたりすることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。(c)
7 8	評論	働かないアリに意義がある(長谷川英祐)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・積極的に筆者の主張をふまえ、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する本文の論理の展開を粘り強く捉え、要旨をまとめようとしている。(b) ・実験をふまえて結論に至った論理の展開を表形式で積極的にまとめようとしている。(c) ・学習課題に沿って積極的に慣用表現について調べたり、表現効果について考えたりすることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。(a)
9	評論	なぜ多様性が必要か(福岡伸一)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握し、生物多様性が必要な理由について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の必要性について述べた本文を粘り強く読み、学習課題に沿って内容の理解を深めようとしている。(c) ・読書の意義と効用を理解する。(a) ・積極的に筆者の主張を評価し、立場の異なる読み手を説得するために表現の仕方を工夫して説明しようとしている。(c)

※評価の観点：(a)知識・技能、(b)思考・判断・表現、(c)主体的に学習に取り組む態度

月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
10	評論	言語が見せる世界(野矢茂樹)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、言語と認識の関係を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にするはたらしきがあることを理解する。(a) ・学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。(c)
11	評論	身体の個別性(浜田寿美男)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアジェの「自己中心性」や河上肇の「利他性」と比較しながら、筆者が指摘する「本源的自己中心性」を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間は本源的な自己中心性にとらわれていることを指摘した評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理展開や要旨を捉えようとしている。(b) ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。(a) ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。(a)
12	評論	リスク社会とは何か(大澤真幸)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク社会の特徴を捉え、そのような社会での人間のありようについて考える。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って「リスク」について整理し、積極的に説明しようとしている。(c) ・本文を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成を捉えようとしている。(c) ・リスク社会について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。(b) ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。(b)
1	評論	「である」ことと「する」こと(丸山真男)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ・学習課題に沿って例を探しながら「『である』価値と『する』価値の倒錯」について考え、どうなれば民主化が進んだ状態と言えるのか、考えたことを積極的に発表しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。(c) ・民主主義社会のあり方について述べた評論を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成や、要旨を捉えようとしている。(b)
2 3	評論	現代日本の開花(夏目漱石)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の開化と日本の開化との違いを整理しながら筆者の主張を捉え、自分に照らして考えを深める。 ・関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治四十四年の講演の記録に基づく文章を粘り強く読み、本文の構成を捉えようとしている。(c) ・粘り強く学習課題に取り組み、本文の内容について理解を深めようとしている。(a)

